

社協だより

## かしわざき

柏崎地区社会福祉協議会

発行者  
 柏崎地区社会福祉協議会  
 会長 中村 金司  
 さいたま市岩槻区真福寺365  
 事務局長 桑原 見知子  
 広報担当 森田 幸雄  
 TEL・FAX 048-797-2911



第2次柏崎地区地域福祉行動計画決まる

誰もが安心・安全に暮らせ

人にやさしく・ふれあいのあるまち



柏崎地区社会福祉協議会会長

柏崎地区地域福祉推進委員会委員長

中村 金司

深緑の季節を迎え皆様には新しい職場または新生活にも慣れる頃かと思われま。当柏崎地区社会福祉協議会の総会も無事終了し、29年度の福祉活動に向けスタートを切りました。年度予算も昨年度に匹敵する額をご承認頂きましたのでより良い地域福祉の向上を目指し、皆様のご意見ご意向に添えるよう努力し進めてまいりたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

さて、24年度に立ち上げた柏崎地区地域福祉行動計画も5年を経過したため、見直し、より充実を図るため各分野の方々に“行動計画策定委員会”を立ち上げて頂き、数次の会議を重ねて2次計画（4、5ページ）を策定しました。今後5年間この行動計画をもとに事業を進めて参ります。ご意見ご希望をお聞かせ頂ければ幸いです。

最後に皆様のご健勝ご多幸を祈念しご挨拶とさせていただきます。

## 平成29年度柏崎地区社協定期総会開催

5月13日(土)に定期総会が開催されました。御来賓として社協岩槻区事務所長 時田 実様、目白大学保健医療学部教授 毛束忠由様、柏陽中学校校長 河井 尚様、柏崎小学校校長 金今義則様のご臨席を頂きました。

提出の議案はすべてが全員異議なく承認可決されました。その主なるものを報告致します。

## 28年度の事業報告と収支決算報告

### 事業報告

○ウォーキング大会（110名）、柏崎地区敬老会（187名）、柏崎地区親子ふれあいサロン

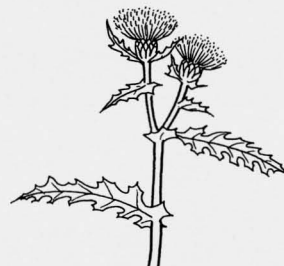
(221名)、グランドゴルフ大会、柏崎地区運動会、歳末助け合い援助事業（正月用品143世帯・支援金68名）等が計画どおり行われました。

○広報紙発行

社協だより「かしわざき」第12号（28年7月1日付）、13号（29年1月1日付）発行

収支決算報告（平成28年度）

収入合計金額 4,029,819円  
 支出合計金額 3,748,930円  
 差引金額 280,889円（次年度に繰越）



平成29年度地区社協の事業計画と収支予算

事業計画

- 4月2日 体育振興会歩け歩け大会に協賛 10月28日 柏崎小学校バザーに合わせ
- 5月13日 柏崎地区社協定期総会開催 親子ふれあいサロン
- 9月18日 敬老会（各支会ごとに開催） 10月～3月 歳末助け合い事業
- 10月8日 体育振興会体育祭に協賛 11月12日 体育振興会グランド・ゴルフに協賛

◎その他各支会にてふれあいサロン等を開催する

平成29年度収支予算

収 入			支 出		
項 目	予算額	付 記	項 目	予算額	付 記
1 補 助 金	1,388,000		1 事 務 費	300,000	
1 共 同 募 金	250,000	共同募金還元	1 会 議 費	100,000	
2 賛 助 会 費	287,000	賛助会費還元	2 事 務 費	200,000	
3 活 動 補 助 金	100,000	広報・サロン	2 事 業 費	2,578,000	
4 世 代 間 交 流 事 業	30,000		1 広 報 事 業	100,000	年2回発行
5 地 域 福 祉 推 進 委 員 会 の 設 置 ・ 運 営	25,000		2 敬 老 事 業	1,338,000	
6 第 二 次 地 域 福 祉 行 動 計 画 策 定	0		3 歳 末 た す け あ い	700,000	
7 事 務 所 運 営 費	696,000		4 地 域 体 育 祭	50,000	体育振興会に協賛
2 敬 老 事 業 補 助 金	1,338,000		5 世 代 間 交 流 事 業	50,000	
3 歳 末 た す け あ い 配 分 金	700,000		6 グ ラ ン ド ゴ ル フ	30,000	体育振興会に協賛
4 雑 収 入	23,111		7 ふ れ あ い サ ロ ン	250,000	
5 繰 越 金	280,889		8 あ る け あ る け	35,000	体育振興会に協賛
			9 地 域 福 祉 推 進 委 員 会 の 設 置 ・ 運 営	25,000	
			10 第 二 次 地 域 福 祉 行 動 計 画 策 定	0	
			3 事 務 所 運 営 費	696,000	
			4 予 備 費	156,000	
収入合計	3,730,000		支出合計	3,730,000	

## 柏崎地区社会福祉協議会役員名簿

(平成29年4月現在)

理 事		実 行 役 員	
柏崎自治会長	森田 勲	会長(自治会長)	中村金司
柏崎原自治会長	田中泰之	副会長(自治会長)	田中泰之
加倉第一自治会長	野呂多美子	副 会 長	矢野妙子
加倉第二自治会長	阿津沢 清	広 報(民生委員児童委員)	森田幸雄
加倉第三自治会長	松本 晃	会 計(自治会長)	宇田川 博
谷下自治会長	松本安積	会 計	浜上智子
浮谷上自治会長	並木迪之	事 務 局 長	桑原見知子
浮谷下自治会長	浅見秀男	事 務 局	丸山 禎
横根上自治会長	宇田川 博	事 務 局	
横根下自治会長	宇田川道夫	監 事	尾崎幸子
浮谷市営住宅会長(民生委員児童委員)	佐藤 誠	監 事(民生委員児童委員)	中嶋保子
真福寺自治会長	中村金司	<b>地域福祉推進委員</b>	
民生委員児童委員	矢野妙子	民生委員児童委員	小瀧義朗
"	森田幸雄	"	宇田川久仁子
"	日下部恵利子	"	野澤康男
"	桑野 勇	体 育 振 興 会	廣瀬尚子
主任児童委員	桑原見知子	"	勝山恵美
地 域 有 志	丸山 禎	"	尾崎幸子
"	加藤俊雄	"	岡田年榮
体 育 振 興 会	岩井清正	"	石橋忠司
"	吉田道夫	"	赤沼忠夫
柏陽中学校PTA会長	関 隆二	地 域 有 志	新井弘子
柏陽中学校PTA副会長	浜上智子	"	田子迪子
柏陽中学校PTA	松井由美	"	鈴木美津子
柏崎小学校PTA会長	小泉真悟	"	佐藤壽枝
青 少 年 育 成	山田輝子	"	正木政子
		"	加藤和正
<b>地域福祉推進委員</b>		"	柿沼千代子
民生委員児童委員	尾嶋孝夫	"	中村広子
"	加藤京子	"	中村房子
"	藤田美由紀	"	志水あさ子
"	中嶋保子	"	仙波道男
"	利根川里美		
地域福祉コーディネーター	倉田真由美		



柏崎地区第2次地域福祉行動計画

(1) 柏崎地区社会福祉協議会の基盤拡大充実

実施計画	行 動 内 容	事 業 内 容	年 度 計 画				
			平成29年度 (2017年)	平成30年度 (2018年)	平成31年度 (2019年)	平成32年度 (2020年)	平成33年度 (2021年)
①事務所機能の充実	組織的な地域福祉活動推進の拠点として、小会議室として地域住民に開放する。また、地区社会福祉協議会の情報発信広報紙『かしわざき』の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域福祉コーディネータの継続配置</li> <li>事務所の解放</li> <li>広報紙の発行</li> <li>情報収集、提供</li> </ul>	実施	実施	↑	↑	↑
②地区社協組織体制の充実	地域福祉行動計画に基づき、当地区社協が実施事業(共催・協賛含む)の効率的な運営を図るため、地域住民の方々の協力を得られる様、継続的に組織体制の充実を図っていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の推進</li> <li>地域福祉推進会議</li> <li>専門部会の設置</li> </ul>	実施	実施	↑	↑	↑

(2) 地域住民による福祉のネットワーク充実

①見守り活動の実施	各自治会や関係団体と連携し、朝晩のあいさつ等の声かけを通じて、高齢者や児童などを対象に見守り活動を行う。支援の必要な高齢者等に對する、支え合い活動を推進する。地域住民の皆様からの協力者・ボランティア等、人材の発掘と養成を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>互助、共助体制の充実と展開</li> <li>支え合い活動の推進</li> <li>事業活動に対する協力者等の発掘と養成</li> </ul>	実施	↑	↑	↑	↑
②各種協賛事業の実施	各種団体との共催・協賛事業を再検討し地域福祉の推進に寄与する新事業を共同で開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>敬老事業</li> <li>歳末助け合い事業</li> <li>その他</li> </ul>	実施	↑	↑	↑	↑
③各種団体連絡会との連携強化	地域福祉増進の取り組みとして他団体との連携を図るため、各種団体間の情報交換・共有を目的とした連絡会には積極的に参加する。他団体と協力し、新事業への参画に向けた交流を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域支援会議</li> <li>その他関連会議</li> <li>社協所有備品の有効活用</li> <li>連携強化が図れる事業展開</li> <li>救命器具取扱い者の把握と養成</li> </ul>	実施	↑	↑	↑	↑

(3) 高齢者・障がい者・児童・青少年への福祉事業の充実

①サロンの充実推進	高齢者サロンや子育てサロンなど仲間づくり、生きがいづくりなど地区住民のコミュニケーションを図れる多様なサロン活動を自治会組織等と連携し拡充継続していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>サロン活動(現在、推進しているサロンの拡大継続)</li> <li>笑いを取り入れた健康体操</li> </ul>	実施	↑	↑	↑	↑
②公共施設開放遊び場の確保	地区内の公共施設等の開放を積極的に促し、安全・安心して遊べる場所を確保すること共に、各団体と協力した事業に活用していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>昔の遊び等世代間交流</li> <li>その他</li> </ul>	実施	↑	↑	↑	↑

誰もが安心・安全に暮らせ・人にやさしく・ふれあいのあるまち

## 地区社協行事のいろいろ

### 歩け歩け大会（柏崎地区体育振興会主催） 4月2日(日)

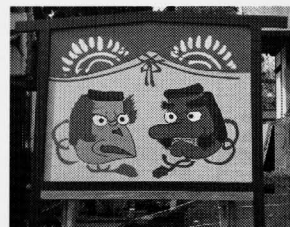


元荒川堤を歩く



第六天神社で休憩

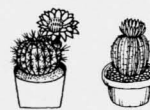
今日は花見日和の快晴、出発地の柏崎小学校に140名が集合、午前9時、各自治会毎に出発、武蔵第六天神社を中間点とする約8キロのコースを歩きました。城南小脇を通り元荒川方面へ進む。所々に咲いている桜や道端の草花を見ながら、水管橋に到着。これを渡れば神社はもうすぐだ。土手の桜の木も多くなり、八分咲きながら心を癒やしてくれる。神社では大きな“天狗、烏天狗”の絵馬に迎えられ、しばし休憩。お参りする人、お守りを授かる人、それぞれが足を休めました。



後半は永代橋を渡り、和土住宅水上公園、子供相撲で有名な和土八幡神社で休憩、八幡神社の桜はほぼ満開に近く、土俵では子供たちが相撲をとりながら遊ぶ姿も。午後1時頃には全員柏崎小学校に帰着し、体育振興会の皆さんが用意してくれたトン汁、おむすびでお腹を満たしました。お母さんと参加した野村啓仁（6歳）君は「少しは疲れたけど、まだまだ大丈夫。」と元気いっぱいだった。



## 各自治会ふれあいサロン



### 加倉3区サロン（もちつき大会） 1月22日(日)



力強く高々と“よいしょ”

恒例となった“もちつき大会”を行いました。晴天に恵まれ日曜日とあって子供づれの方も多く、述べ100人位が集まりました。宗像自治会長は「昨年来、各地でノロウイルスが流行したため、ついた餅を食べないというニュースが話題となっている。このため関係者一同、十分に衛生管理を徹



“おいしいね”



底した。つきたてのおいしい餅を食べて頂きたい。」とあいさつしました。つきたての餅は、きな粉、あんこ、納豆、からみもち等に小分けされ、みなさん好みに応じてそれぞれ堪能していました。家族と来ていた西原小2年生の溝口愛美ちゃんは「きな粉もち」が一番好き。納豆にも挑戦してみたい。」と話してくれた。

もち米20kg、7臼の餅、けんちん汁は瞬く間に皆さんのお腹の中へおさまり無事終了する事が出来ました。

### **加倉2区サロン (第14回) 2月18日(土)**

第14回サロンを開きました。阿津沢会長のあいさつ後、新任の加藤京子民生委員（谷下と加倉2区の一部を受け持ち）が紹介されました。昨今、高齢者の交通事故が多発していることから岩槻警察署からDVDを借りて勉強会を開きました。歩行中の注意、自転車での交通事故、いずれもスタントマンの演技による迫力ある映像に「あぶない!」「あれじゃ死んじゃうぞ。」とあちらこちらから声が上がりました。終了後、借りてきた中野孝司担当から「見て頂いた通りちょっとした不注意で事故につながります。交通標識を守り、必ず横断歩道を渡る。自転車に乗った時は通行方向や一時停止の交通ルールを守り事故に逢わぬよう元気で過ごしましょう。」と喚起しました。



熱心にDVDに見入る

このあと、平島則子インストラクターによる健康体操で緊張した体をほぐしたあと昼食、午後の部は恒例のビンゴゲーム、カラオケと進み3時頃まで楽しく過ごしました。



緊張のあとは健康体操で

### **加倉1区サロン (笑い体操) 3月14日(火)**

笑うと言う事は健康に良いとされています。ここにヨガの呼吸法を取り入れた健康体操を行いました。今回指導の先生は、“柏崎社協のインストラクター”として講習を受け勉強してきた矢野妙子さん、尾崎幸子さん、中村広子さんです。まずは“ハハハ”と声を出して笑って手振りを入れて大笑いします。先生がいろいろな楽しい場面を想定して笑っていくうちに皆さんに次々と伝播し、最初はぎこちなかった笑いも、最後には皆さんで大笑いの連続でした。



先生の指導で身振り手振りを入れて

重要なことは口先だけの笑いでなくお腹

から声を出す事です。この事で呼吸の筋肉が働き酸素の効率よい取り込み、免疫力アップ、脳の活性化、血行促進等、健康効果が増進するそうです。



思わず笑いがこみあげて

矢野さん、尾崎さん、中村さん

お腹がすいたところで、手作りのカレーライスで昼食、恒例の誕生日会、なつかしの童謡を歌い終了となりました。

### 原町ふれあいサロン4月1日(土)

原町広域集会所で11時からお花見会を開きました。広場の桜も三分咲き、天候不順のため会場は室内に設置。30名ほどが参加しました。



参加者の皆さん

最初に新任の民生委員・中嶋保子さんの紹介とあいさつ、退任した柿沼千代子さんのあいさつ、そして田中泰之自治会長が、「柿沼さんご苦労様でした、今後も中嶋さんの補佐をよろしくお願いします。自治会の皆さん健康に気をつけ元気に過ごしましょう。」と結びました。このあと、尾崎幸子さんや勝山恵美さん達の手話講習で唱歌

「故郷（ふるさと）」を習い、皆さん手話を取り入れて合唱しました。また今だに故郷に戻れない人を思い、東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」も歌いました。



“おやじバンド”の山野さん(左)と水谷さん

このころ丁度「おやじバンド」の水谷正行さん、山野浦男さんの準備も整い、お弁当を食べながらギター、ハーモニカ、ドラムなどの演奏で盛り上がりました。中でも水谷さんが作詞した“替え歌”が数曲、ユーモアに満ちており、みんな楽しく歌いました。

### 社協事務所

開所日時 月曜日～金曜日（土日祝祭日休み、臨時休有り）  
10時～12時・13時～16時

TEL 048-797-2911 地域福祉コーディネーター 倉田 真由美